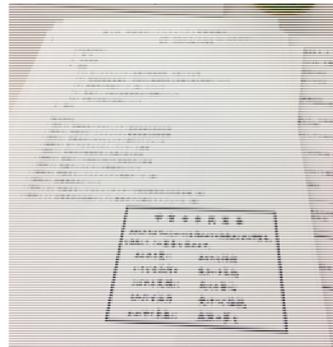


【甲賀市】サーベイランス委員会、推進協議会を開催

7月4日、甲賀市において第一回サーベイランス委員会が開催されました。当日は、事務局が既存の統計データ、アンケート調査結果等の分析を取りまとめたものを提示し、それに基づいて各分野から選出された委員が協議を重ね、5つ（「自殺予防」「交通安全」「高齢者の安全」「子どもの安全」「災害防止」）の重点課題を採択しました。他の自治体で重点課題として挙げられている「犯罪予防」や甲賀市の特性である「労働の安全」なども候補として挙げられていましたが、まずはこの5つを重点課題として推進協議会に提案をすることとなりました。

同23日には、推進協議会が開催されました。事務局より、セーフコミュニティ活動の経過と今後の予定等が説明されました。その後、地域診断結果報告として甲賀市の地域特性と外傷の発生状況について説明がなされ、その情報を踏まえたうえで、甲賀市の取組テーマについてサーベイランス委員会から提案がありました。サーベイランス委員会の提案をうけ、取組テーマ別に対策委員会が設置されることとなりました。



資料には、いつも市民憲章が記載されています

【JISC】SC研修会を実施

7月12日と13日にキャンパスプラザ京都（京都市）においてセーフコミュニティ研修会が開催されました。北は青森十和田市、南は鹿児島からSC担当者が出席し、国内外の動向について情報を共有するとともに、各自治体のSC活動の状況について学びました。

まず、JISCからは、海外での現地審査及び認証式に出席した報告と認証申請・現地審査、認証式に関して、その準備や進め方についての説明がありました。また、現在、WHOCSSP（SC協働センター）

が中心となって進めている組織改正についても状況報告がありました。この件については、10月の世界SC会議（メキシコ）においてセンターから具体的な報告と説明があるということで、支援センターが出席して情報収集する予定です。

また、参加自治体からは、それぞれ限られた時間のなかではありましたが、SC活動の状況について説明がありました。



初日に記念撮影をしました

【久留米市・松原市】現地審査リハ実施

久留米市（7月18日、19日）と松原市（7月24日）において8月に迫った現地審査のリハーサルが行われました。久留米市においては、2日間にわたり、各対策委員会の委員長及び事務局がJISCスタッフを前に、PPTファイルを用いて本番さながらに報告を行いました。各報告の後、JISCからは細かな点の確認を行い、SC事務局は報告時間のチェックと報告量のボリュームを確認しました。

松原市においては、推進協議会と併せてリハーサルを開催し、各対策委員会による報告が推進協議会への報告であるとともにリハーサルになる、という位置づけでした。



100人ほどを前にリハ（松原市）

【秩父市】 庁舎内での基礎固め着々と

7月22日、秩父市では、対策委員会設置に向けて、担当すること



となる部課の準備として、担当課長会議においてセーフコミュニティに関する講話を行いました。その後、続いて対策委員会構成メンバーの一部（主要メンバーとなる15名程度）に対してSCに関する説明を行いました。）

また、その間に新たに国際セーフスクール（ISS）に取り組むこととなった学校（秩父第二中学校、花の木小学校、南小学校）からISS着手の書簡を手渡していただきました。これによって、秩父市も正式にISS活動が始まることとなりました。

【小諸市】 推進協議会+防災対策委員会

7月25日、小諸市では、防災対策委員会と推進協議会が開催されました。

小諸市の防災対策委員会は、最後に設置されたことから、他の対策委員会と比較して実施回数がまだ少なく、委員の発言もまだ控えめな様子でしたが、委員長が、女性的な視点から積極的にアイデア等を提供していきました。特に、「防災とって構えるのではなく、日常生活で活用できる防災が大切」というコメントをされました。



防災ずきんは椅子の背もたれカバーとしても好評です

委員会の後、JISC 白石にも寄付された防災ずきん（50個）のなかから2個いただきましたので、さっそくいただいた防災ずきんを椅子

カバーとして使って「使える防災」を実践しました。

推進協議会では、各対策委員会が認証後の取組を報告されました。小諸市では、毎回、委員長や事務局が推進状況をご報告くださるので、オール小諸としての取組の全



推進協議会後に打合せ中の小諸市長と小諸警察署長

容がわかるとともに、対策委員会としても、「頑張らなくては！」という気持ちになるのではないかと感じました。

【松原市】 学校の安全探検プロジェクト

7月27日、松原市立松原北小学校において、JISC白石の科研費研究（安全なまちづくりにおける指標の構築）の成果を地域（特に若い世代の子どもたち）に還元するためのプロジェクト「ひらめき★ときめきサイエンス」を実施しました。

子どもたちは、「安全ってなに？」「科学ってなに？」などの講義を受けた後、グループに分かれて学校中を探



検しながら「安全」と「危険」をチェックしました。その後、調査結果を大きなマップにまとめてそれぞれ報告しました。単に危ない個所や安全な個所を探すだけでなく、「どうして危険なの？」「どうして安全だとおもったの？」という説明をしなくてはならなかった点がやや難しかったようですが、楽しく数時間をすごしたようです。当日は、松原市役所から子どもの安全対策委員会事務局、SC担当者、松原北小学校の校長先生、保護者や地域の方なども多く来られ、子どもの鋭い観察力に驚いていました。



参加した児童は、修了後に「未来の博士号」を授与されました

【発行】

一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構
大阪市中央区内淡路町 2-4-4 アール天満橋 3階
Tel: 06-6949-3033 E-mail: mail@jisc-ascsc.jp